

# 令和5年度 自己評価結果 及び 学校関係者評価結果報告書

## 学校教育目標

夢に向かう 心豊かな子 【めざす子供像】 ・広く深く学ぶ子 ・思いやりのある子 ・たくましく生きる子

分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果の考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
教育目標	(1)学校・学年・学級経営の充実	・各教科で工夫した授業を創造し、学習意欲の高まりがみられるか。また、校内研修によりICT機器の活用方法が身に付いている。	・昨年度に引き続き、誰にとっても分かりやすいユニバーサルデザインの授業を心がけた。また校内研究の領域を「情報」とし、「主体的に学ぶ」、「自分の考えを持つことができる」ことに重点を置き、タブレット端末の活用研修を行い、教員が効果的な使用方法を理解し、児童が活用する場面が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力ふなばしナンバーワン！」への取組をさらに拡大させたり、正課時体育の時間を充実させたりすることで、自ら進んで運動に親しむ児童を育成する。</li> <li>・若年層研修の充実を図り「わかる授業」の創造に向け授業の質的な向上を目指していく。</li> <li>・学校と家庭・地域がより連携し、児童の生活習慣を徹底して身に付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営は学校だけでなく、学校・家庭・地域と協力して行っていく。</li> <li>・保護者へのアンケートからも目指す児童像に関する項目は肯定的評価が高く、保護者の理解が得られている。</li> <li>・今後も学校の取り組みをわかりやすく周知していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで考え、表現できる児童の育成を目指し、「わかる授業」の実践やICT機器の効果的な活用を引き続き行っていく。</li> <li>・小規模校であるアットホームな雰囲気を大切に、児童同士や児童と教職員との関わりを通して思いやりの心を育てていく。</li> </ul>
	(2)学習指導の充実					
	(3)美しい教育環境の整備・充実	・道徳の時間や子供主体の活動を多く創出し、児童一人一人の思いやりの心が育っている。	・どのクラスも落ち着いて学校生活を送っている。地域の方や保護者への挨拶が良いという評価をいただいている。児童主体の挨拶運動もおこなっている。			
	(4)生徒指導、特別支援教育の充実・推進					
	(5)心の健康と体力の増進、安全指導の強化	・健康に留意し、休み時間等、外遊びの時間が確保され安全に留意しながら体力づくりに取り組んでいる。	・体力向上に向けて、体育主任を中心に「体力ふなばしナンバーワン！」に年間を通して取り組んでいる。			
	(6)開かれた学校の推進					

<p>教育課程・学習指導</p>	<p>・豊かな学びで一人一人の夢を育てる教育課程を編成し、推進していく。また、確かな学力を育成するために、授業改善、指導過程の工夫を行う。</p>	<p>・各教科の学習や様々な体験学習を通して豊かな心と学習意欲が高まっている。</p> <p>・個に応じたきめ細かな指導を徹底し、思考力の育成が図られている。</p> <p>・「教育課程特例に基づく小学校1、2年生の英語教育」により、英語学習への興味・関心が高まった。</p>	<p>・体験学習や外部講師、企業のオンラインによる出前授業の活用を推進することによって、児童の興味・関心を高め、学習内容をより効果的に身につける工夫や努力をすることができた。</p> <p>・学習過程を明確にするために資料を作成し、見直しをもって学習に取り組むようにした。特別な支援が必要な児童の個に応じた指導、個別指導に積極的に取り組み、一定の成果を得た。</p> <p>・担任とALTとチームティーチングによる学習活動を通して、楽しく英語に触れることができ、外国語の音声やリズムに慣れ親しむことができた。</p>	<p>・葛南スタイルの授業を進め主体的に学習に取り組める「わかる授業」の実践に努めていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「教える授業」から「学ぶ授業」へ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見出す</li> <li>(2) 自分で取り組む</li> <li>(3) 広げ深める</li> <li>(4) まとめあげる</li> </ol> </div> <p>・個別の指導計画や個別の教育支援計画を活用し、より効果的な個々に応じた指導を模索する。</p> <p>・今年度、関係機関(総合教育センター特別支援班、放課後デイサービス)に来校・授業参観を依頼した。今後も、児童の実態把握、支援の手立てについて協議を図り対応していく。</p>	<p>保護者アンケートより英語学習への評価が低い。子どもたちが楽しんで学習している実態をより保護者へ伝えていく。</p> <p>・英語特区としての取り組みをより活用していく。(ALTとのチームティーチング等)</p> <p>・現在の市場小の規模だからこそできる体験がある。</p>	<p>・体験活動や芸術・文化に触れる活動を教科の学習と関連付けて年間計画に位置付けて実施し、学習の充実を図る。</p> <p>・個別の指導計画や個別の教育支援計画をより効果的に活用していく。</p> <p>・特別支援部会や交流部会において、個に応じた指導を行うことができるように教職員での共通理解を図る場を設けていく。</p>
<p>組織運営</p>	<p>・児童が充実した学校生活を送れるように、学校運営、学級経営に関して明確かつ厳正な運営、責任体制を確立する。</p>	<p>・校務分掌を整理し、教職員が自分の力を発揮できる校内体制が確立できた。</p> <p>・教職員は、通知文を理解し服務を厳正に行っているか。不祥事根絶に向け学校全体で取り組んでいる。</p> <p>・個人情報管理を徹底して行っている。</p>	<p>・教員の減少に伴い、一部の職員の校務分掌に偏りが生じた。業務改善の視点からも、より均衡が図れるような分掌割り振りが課題である。</p> <p>・職員会議、打ち合わせなどで都度、事例を示し、不祥事根絶についての意識向上を図ることができた。</p> <p>・動画研修においては、視聴後の意見交換で互いに声を掛け合いながら職務に当たっていかうとする組織風土が醸成された。</p> <p>・情報管理「4つの確認」「4つの約束」を周知し施錠して保管するなど情報管理を徹底した。また、個人情報持ち出す場合は持ち出し簿への記載を徹底した。職員による生徒のメールアドレス等の収集記録簿により、個人情報の管理を徹底した。</p>	<p>・教職員が行った自己評価に基づき教職員の意見を反映させながら、学校運営を推進していく。</p> <p>・校務分掌については、若年層にも積極的な割り振りを行う。また、分掌の体制の見直しを行い、職員数に合った校務分掌としていきたい。</p> <p>・個人情報情報を校外へ持ち出すときには管理職に確認することを徹底し、情報管理への意識が図られた。今後は、情報セキュリティ等に関する意識をさらに高める。</p>	<p>限られた職員の数の中、職員数にあった校務分掌割り振りを行っていく。</p> <p>・情報セキュリティの扱いについては、現在徹底している内容を、より厳格に遵守していく。</p>	<p>・学校の規模に合わせた体制に変えていき、校務分掌は偏りのないように、職員の得意な分野や年齢構成を鑑みながら十分配慮していく。</p> <p>・情報セキュリティの扱いを今後も徹底していく。</p>

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童理解を深め、校内の生徒指導体制を確立する。</li> <li>・基本的な生活習慣を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動等への生徒指導体制が整備され機能しているか。教育相談体制が整備され、機能している。</li> <li>・いじめを早期に発見し、早期対応が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導部会では共通理解を図り組織が機能している。</li> <li>・問題行動やいじめの早期発見とその後の経過観察を徹底した。</li> <li>・学校生活アンケートを定期的に行い、担任が児童から聴き取りを行う中で、早期対応することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導部会としての組織は今年度もよく機能していた。今後も生徒指導担当を中心に組織として取り組み、問題の早期解決に努めていく。</li> <li>・家庭や地域との連携をさらに強化するため、学校からの情報の提供をより積極的にいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめに関して、保護者アンケートで「わからない」が25%いる。学校でのよい取り組みを保護者へも伝えていく。</li> <li>・自転車の乗り方は、家庭や地域、行政も含めて検討していく。大人の自転車走行が危険であるため、警察に依頼し、見守り・指導をお願いすることも必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期的な生活アンケートや児童主体のいじめを考える機会をもつことでいじめ対策の強化を行う。</li> <li>・学校での取り組みを積極的に伝えていく。</li> <li>・家庭や地域と一緒に問題解決を図れるようにしていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちは学校のきまりを理解し、守っている。</li> <li>・家庭、地域、関係機関との連携が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の乗り方等に課題が残った。学年・学級ごとに都度指導しているが、家庭・地域との連携を強化していく。</li> </ul>				
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画に基づいた安全管理と危機管理体制の確立および児童の危機対応能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検が確実に行われ、安全な学校環境が整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月安全点検日を設け、全職員で協力し校舎内外の安全点検ができた。</li> <li>・教育委員会の関係部署と連携を取りながら施設修繕を行ってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当者による毎月の点検、安全主任による報告内容の確認が適切に行われたので継続していく。</li> <li>・危機管理マニュアルについて年度当初に全職員で確認し改定も行う。</li> <li>・児童の安全について保護者や地域に啓発し、安全確保に協力を得られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内設備に関しては、施設修繕をよく行っていた。少ない職員で修繕・管理していた。</li> <li>・市場町自治会でも避難訓練を実施する。学校から周知することで、地域防災を考える機会をもつことも大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやじの会に校内整備（側溝掃除や草刈り等）はお願いしていたが、今後も協力しながら、環境整備に努めていく。</li> <li>・児童の安全について課題や家庭・地域へお願いしたいことは、学校だより等を利用し、保護者や地域に啓発し、安全確保に協力を得られるようにしていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、不測の事態を想定した適切な指導や避難訓練を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候不良による延期もあったが年間計画に位置付けた避難訓練を行うことができた。不測の事態への危機意識が高められた。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルが活用され児童は危機対応能力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルをまとめ、校舎内に掲示している。大切な「おはしも」「いかのおすし」などの約束事を児童に定着させるよう努めた。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に関して家庭、地域、関係機関との連携を図り、適切に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域がスクールガードとして登下校の安全指導を行ってくれている。定期的に、校長が登校指導をしている。</li> </ul>				

保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健計画に基づいて児童の健康管理と心のケアの体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健計画に基づいて、児童の健康管理が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健計画に基づいて、健康観察をもとに子供たちの健康管理を行った。ICTを活用して、各学級ごとの欠席状況をデータ管理するようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任と養護教諭とで健康管理について学年に応じた指導を年間計画に位置づけ実施していく。</li> <li>アレルギー対応について、連絡票の活用により一層の統一と危機管理意識の向上を図る。</li> <li>児童が担任だけでなく、他の教職員にも悩み事を話せるような体制づくりに努める。</li> <li>スクールカウンセラーの活用を活発にし、保護者のみならず児童にとっても相談しやすい環境作りに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育を大切にしている。食を通して、心と体を育てていく。現在行っている学習アプリを活用した給食時の食育活動は素晴らしいため、家庭へアピールしていくとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭を中心として、学校全体で食育の推進をより進めていく。</li> <li>養護教諭による保健指導を年間計画を作成し、学年に応じて実施していく。</li> <li>全職員で全児童を育てるをモットーに今後もアットホームであたたかな学校づくりを目指していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の病気やけがなど適切な処置を行い、家庭へ速やかに連絡している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が病気やけがをした際に速やかに家庭へ連絡し、病気、けがの状況を伝えることができた。特に首から上のけがは必ず管理職に報告があがっていた。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>食育に関する指導を計画的に行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭が積極的に複数の学年、学級で授業を行い、食育を推進することができた。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の悩みを把握し、心のケアを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童理解に努め、変化を見逃さず担任が声かけをすることができた。心配な児童には管理職が進んで対応し、組織的な対応となった。</li> <li>スクールカウンセラーが教室での児童の様子を見て回ったり、担任との話し合いをしたりして、担任の児童理解が深まった。</li> </ul>			
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の資質、指導力の向上をめざし、体系的に研究、研修を進める。</li> <li>教育課程の工夫改善を図り、教職員が教材研究するための時間の確保に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修は学校の教育課題に即したものであった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の活用等学校の教育課題に沿った研修が行われ、有意義であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究については、「情報」研究を3年行ってきた。次年度は、新たに研究のテーマを定め、より全職員が見通しをもてるような研究推進となるよう検討していく。</li> <li>若年層研修は、より充実した研修を計画するようにする。今後は指導力・実践力を高めることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の活用は低学年から活用できている。少人数な学校のよさもあり、指導が行き届いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち実態を捉え、能力や技量を高めるために、今後も研修・研究を進めていく。</li> <li>校内研究体制を見直し、授業研究に取り組んでいく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究、教材研究を通して、教師の授業力を高め授業の改善が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主任を中心として、特に情報領域に焦点化したためあてのもと、タブレット端末の活用場面や方法等の研修を行った。研究により、子供たちの情報活用能力や表現力の向上につながった。</li> <li>若年層研を年間計画に位置付け自主的に行った。各教員からの講義により教育的知識を広げることができた。</li> </ul>			

<p>保護者・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域の期待や要望に応える連携体制をつくる。</li> <li>・地域中学校区を中心とした学校間の連携を強化していく。</li> <li>・学校運営協議会委員や関係機関との連携体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域への情報提供を適切に行っている。</li> <li>・地域、PTAとの連携は図られている。</li> <li>・保護者や地域の方から寄せられた要望に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍があげ、地域の行事が再開されてきた。子供たちは市や公民館イベント等の地域の行事への参加が増えてきている。特に本校おやじの会イベントには多くの子供たちや保護者が参加している。</li> <li>・ホームページ、学校メールなどを活用して学校の様子を伝えるよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学校が目指していることや教育活動を保護者や地域の方に説明したり、学校の情報を発信したりしていく。</li> <li>・市民の会や地域の行事が再開され、地域や保護者との連携を深める機会が得られるので、意見をいただき学校運営に反映していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より市場町自治会家庭に学校だよりの回覧を行った。市場小に子供を通わせていない家庭にも学校への取り組みや地域への啓発を知ることができ、学校への理解が深まった。</li> <li>・学校を通して、地域イベントや公民館事業を周知することで、より連携が図れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや学校だよりにより、児童の様子や学校の姿勢を評価していただけたので、来年度も積極的に情報発信していく。</li> <li>・市場町自治会家庭への学校だよりを継続していく。</li> <li>・安全に関する啓発をより、家庭・地域へ行っていく。</li> </ul>
<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員による特別な教育支援を必要とする子供への理解と指導、支援を特別支援コーディネーターを核としての協力体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の特別な教育支援を必要とする子供への支援体制が整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター、生徒指導主任と管理職を中心に支援体制を計画的に組んだ。支援の必要な児童の個別のファイル作成を継続している。それにより、引継ぎ等を円滑に行うことができた。</li> <li>・自閉症情緒障害特別支援学級「けやき学級」について、校内で連携を図り、支援級と交流学級との学習を通して、実態に合わせた支援を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、特別支援部会と生徒指導部会を分けて行ったが、職員の評価からは取り組みやすかったと好評価であったので、次年度も続けたい。</li> <li>・個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成して、保護者との連携を図る。また、計画の策定だけでなく、その活用について職員の理解を深め、手順を確認することが必要である。職員の研修を計画的に進める。</li> <li>・関係機関、スクールカウンセラーとの連携をより一層深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「けやき学級」の児童数が年々増加している。インクルーシブ教育を取り入れた、学びの場の提供ができていく。</li> <li>・支援員の増員を希望したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子ども全てに渡って、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成し、保護者と定期的に連絡を取りながら、教育支援を行っていく。</li> <li>・引き続き関係機関との連携を一層深めていく。</li> <li>・校内の連携を図り、支援級と交流学級との学習の充実に努める。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、医療・福祉などの関係機関との連携を適切に行っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関による経過観察を行っている児童について、必要な対応について職員の共通理解を図ることができた。</li> </ul>			

施設設備・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の有効活用と教育環境の整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境や生活環境を向上させるための整備を計画的に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設・設備の修繕など、昨年度より環境を向上させることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備については、日々の安全点検に努め事故を未然に防いでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕が行われ、学校環境が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備については、日々の安全点検に努める。学校で修繕できないものについては、市教委へ要望し、修理、改善を依頼する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の使用は、留意事項を心得て有効に使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空教室が多くあるが、室内を整備し、作品展示室や更衣室として、有効に活用することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕可能なものは早急に対応する。学校でできないものについては、引き続き市教委へ要望し、修理、改善を依頼する。また、校舎老朽化に伴う改善箇所については、短期的、長期的なものに分類し、計画的に改善していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校環境づくりに関して、おやじの会へ協力依頼をし、保護者の力を活用してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空教室が増え、着替えや作品の保管等有効活用が図れた。今後、整理整頓を心がけたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の点検を適切に行い、改善への努力を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の安全点検を確実に実施し、修繕が必要な箇所については、優先順位をつけて対応した。</li> <li>今年度、換気扇・照明等の修繕が多かった。安全に学校生活を送れるように、業者や施設課と連絡を取り、早めの対応を心がけた。</li> </ul>				